

2024年度 ご寄付者様へのお礼とご報告

お礼

2024年度も、東京サドベリースクールの活動をご理解・ご支援いただき、誠にありがとうございました。

皆様からお寄せいただいた温かいご寄付は、生徒たちの主体的な学びと安心して過ごせる環境づくりに、大きな力となりました。

スクールの整備、教育資材等の充実、活動の実施など、日々のスクール運営において欠かせない支えとなっております。

本校の教育は、子どもたちの自由な発想と対話を大切にしながら、共に社会をつくっていく力を育むものです。その土台を支えてくださった皆さまの想いに、心より感謝申し上げます。

こちらでは、2024年度の寄付実績やその使い道、生徒たちの様子をご報告いたします。

ご寄付額について

	2024年度
継続寄付	428,300 円
都度寄付	450,000 円
合計	878,300 円

経費について

	2024年度
経費	138,976 円

お礼の気持ちとしてイヤブックスの送付や決済手数料等のご寄付に関わる経費の合計は138,976円となり、ご寄付合計あたり15.8%となりました。一般的に平均20%といわれる寄付に関わる経費を、2024年度も下回れました。理由は例年と同じく、いただいたご寄付を大切にしようとする必要経費にはきちんと使いつつ、できることは手作業で行うなど経費削減を行った効果となっております。

2024年度スクール活動のご報告について



夢中の芽

どんな活動をするのかではなく、「夢中」そのものが、私たちにとって最も大切なものです。

その中には、自らを肯定し、課題を見つけ、工夫し、挑戦し続ける姿があり、人生をつくる芽が確かに育っています。

外に出よう

東京という多彩な学びの宝庫を舞台に、ミュージアムや街歩きなど、生徒たちは自ら企画し、外出を通じて多様な経験を重ねています。

経験を通して広がる視野や深まる理解は、室内とは違ったものを得られるかけがえのない財産となっています。



なんでもみんなで話し合う

民主主義に基づく学校運営の中で、生徒たちは「自分たちのコミュニティ」を主体的につくり上げています。日々の話し合いや意思決定に加え、年に1度の決算報告会では、生徒自身が責任を持って議長や担当を務め学校財政を報告。こうした経験は社会の一員として必要な力を育む貴重な学びの場となっています。



皆様とつくる、温かなTSSコミュニティ

寄付者の皆様への感謝のパーティーを開催し、応援してくださっている皆様にご参加いただきました。また同窓生や保護者の皆さんらともTSSをご紹介する企画を実施。生徒たちが司会や企画を担当し、温かく和やかな雰囲気の中で感謝の気持ちやTSSの教育をお伝えることができました。



サドベリー教育を子どもたちの選択肢に

日本教育学校にて同窓生、研究者、スタッフが一堂に会し、サドベリー教育について意見交換や研究発表を行う貴重な機会が実現しました。サドベリー教育を教育の選択肢の一つとして広く社会に認知・普及していくための重要な一歩となり、今後の教育の多様化に向けた取り組みを加速させています。



多様な学びを支える制度を、少しずつ

スタッフ杉山も発起人の1人である多様な教育を選ぶための法案から派生し、東京都の助成金制度で年間24万円の補助が家庭に届く仕組みができました。家庭の経済的負担を軽減でき一人ひとりの子どもが自分に合った学びを見つけ選びやすくなりました。

年間24万円の学費応援

都の助成金申請が
可能となりました！

For Students

国境を越えて広がる学びの対話

寄付者の皆様のご支援により、台湾の教育研究者をはじめとした海外の方々と、多様な教育の現状について意見交換する貴重な機会が実現。

日本国内にとどまらず、国際的な視点から学び合うことで、サドベリー教育をはじめとする多様な学びの価値がさらに深まりました。



教育への想いを綴ったコラム、随時更新中

2024年度も様々な教育コラムを更新、皆様にお読みいただきました。

「いい子戦略という生存戦略」「学び・吸収・没頭」「イルカとネコと、ツバメは違う」「「勉強」が気になる保護者さんへ」など多数お読みいただけます。

[『スタッフ教育コラム』はこちらから](#)



寄付者様からの応援メッセージ

平賀陸人さん/小学校教師（継続ご寄付）

サドベリースクールで私が見たのは、子どもが「心からやりたい」という内発的な思いに基づき行動を決め、自らの可能性を信じる姿でした。

やるべきこと、やらなければならない、といった指示に縛られない場合は、既存の学校教育とは大きく異なります。そうしたのびのびとした環境の中で、子どもたちは一人ひとりが本当に学びたいことへ没頭し、自分の可能性を信じられるようになっていくと強く感じました。こうした子どもたちとの出会いは、非常に新鮮な驚きで、その後の教育に対する姿勢を大きく形作りました。

現在は公立小学校教員として働いています。かつてボランティアスタッフとして関わった経験は、私の教育観に深く影響を与えています。また、子どもたちが自らの興味に基づき、主体的に課題を見つけ、仲間と協力しながら解決していくことは、現在の公教育が目指す「主体的・対話的で深い学び」の理念に通ずるところがあると感じます。これからも子どもたちが安心して自己決定し、学びを体験できる場であってほしいと思います。未来を見据えたその理念が、より多くの人々に理解され、広がっていくことを心から願っています。



同窓生のご紹介

幸田純徳さん/外資系IT物流企業勤務

Q.なぜTSSに入学されたのですか？

体験入学してみて、自分の時間に自分で責任を持つことに魅力を感じました。また、「何もしないこと」を選んでやっている、というところが面白いと思いました。TSS入学時、何がしたいかわからない部分もありましたが、どこかで自分がやりたいことが出来た瞬間に、何にも止められず行動に移せると思ったからです。



Q. TSSに通い、どんなことが仕事や人生に役立っていると感じますか？

TSSでの経験は（ミーティングやルール決めなどの話し合いから、パーティーなどの集い、時にはケンカまで）、小さな国ではないけど、一つのコミュニティの中で自分の行動が環境や相手に影響されることを肌で感じました。実社会を早くから経験できたこと、必要以上に子ども扱いされないことで、私はおのずと自分の意見ややりたいことが見えてきました。義務教育を足し算と表すなら、TSSでは引き算を行って、自分と向き合うことで、やりたいことが見えてきたのかもしれない。サドベリーに関わる一人ひとりが、自分らしくいられる日々が、これからも穏やかに続いていくことを願っています。

2024年度 ご寄付者芳名録

ご寄付いただいた皆様のお名前を、感謝の気持ちを込めて掲載させていただきました。皆様からのご厚志は、東京サドベリースクールで学ぶ生徒、支えるスタッフ、教育の充実、施設の整備など、スクールの維持発展のために大切にに使わせていただいております。

芳名録は以下の基準で掲載させていただいております。

■お申しいただいた方のお名前を五十音順で掲載しております。ただし、お名前に数字が付く場合は先に掲載しております。また匿名希望の方につきましてはご芳名掲載しておりません。なおご記載の希望が不明の方につきましても掲載をしておりません。

■個人情報の取り扱いについて、慎重を期すため、掲載はご芳名のみとし金額は掲載しておりません。

■複数回ご寄付をくださった方のご芳名につきましては、原則として最新のご寄付時の指示に従って掲載しております。

■旧漢字につきましては、表示が困難な場合、常用漢字に置き換えて掲載しております。

■ご寄付いただいた方で、万一お名前が漏れているもしくは誤っている場合等、お気づきの点がありましたら、お手数ですが下記『お問い合わせ』までご連絡をお願いいたします。

[『お問い合わせ』](#)

継続寄付者芳名録

2024年4月1日～2025年3月31日

掲載 4名 匿名 5名 計 9名

武井浩三 様
澤邊佳彦 様

中川真以 様

平野壯弦 様

※掲載可否不明の皆様につきましては匿名とさせていただきます

※ご寄付日付順に掲載しております

都度寄付者芳名録

2024年4月1日～2025年3月31日

掲載 6名 匿名 7名 計 13名

濱田悠 様
クルック貴子 様

下村貢司 様
吉本真秀子 様

池野美樹 様
福島直明 様

※掲載可否不明の皆様につきましては匿名とさせていただきます

※ご寄付日付順に掲載しております

あらためて、応援いただいた皆様には多大なご支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。本当に、ありがとうございます！

また本校は、経済的ご支援以外にも、専門知識や特殊な作業、物品、SNSや口コミでの広報協力など、たくさんの皆様に支えられております。

この場をお借りして、あらためて感謝申し上げます。